

## 令和 3 年度実施「いきいき協働事業」相互検証評価シート

事業名	スポーツ&カルチャーフェスティバル in 小平
団体名	東京 2020 オリンピック・パラリンピック小平市民プロジェクト
担当課名	文化スポーツ課

**1 目的の共有**（事業の目的をお互いに理解し、共有しながら事業を進めたか）

団体自己評価 :十分達成できた	担当課自己評価 :十分達成できた
<p>【団体】コロナ禍で十分な広報ができなかったが、オリンピック・パラリンピックを契機にダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包摂)の考え方を、体験を通して子供たちに理解してもらう事ができた。</p> <p>【担当課】事業開始時に団体と担当課の双方で目的を共有し、団体が定例会などの機を捉えて常にメンバーにも目的を共有しながら進めていた。その結果、ダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包摂)をしっかりと意識しながら事業を行うことができた。</p>	

**②自主・自立の尊重**（双方の団体としての独立を尊重し、過度に依存することなく事業を進めたか）

団体自己評価 :十分達成できた	担当課自己評価 :十分達成できた
<p>【団体】事業の実施について事前の打ち合わせと担当者の適切なアドバイスにより、相互に過度な依存等は無く、円滑に気持ちよく事業を実施できた。</p> <p>【担当課】団体がしっかりとした目的を持ち自立をしていたので、担当課として安心して事業を行うことができた。</p>	

**③相互理解**（互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方を理解し、柔軟な対応が図られたか）

団体自己評価 :十分達成できた	担当課自己評価 :十分達成できた
<p>【団体】多様なメンバーの組織であり、企画のとりまとめの時間も少なかったが、お互いの事情を理解していただき柔軟な対応をしていただいた。</p> <p>【担当課】団体には常に情報を共有いただけたので、団体の理念や考え方を十分に理解することができた。</p>	

**④対等関係**（互いの事業活動における対等な立場を踏まえ、事業を進める様々な場面において、適切な協議、意見交換等の機会を設け一方的に決めることなく十分に話し合ったか）

団体自己評価 :十分達成できた	担当課自己評価 :十分達成できた
<p>【団体】実行委員会や各チームミーティングにおいて企画内容を何度も検討し、適宜アドバイスをいただきながら意見交換を進めた。</p> <p>【担当課】定期的に行う実行委員会やチームミーティングに参加することで、適切な協議、意見交換の機会があり、十分に話し合いながら事業を進めることができた。</p>	

## ⑤情報の共有（相手方と十分な情報の共有ができたか）

団体自己評価：十分達成できた	担当課自己評価：十分達成できた
<p>・会議の席上だけでなく、事前にメール等で内容のチェックをお願いし、必要な情報を共有しながら進めた。</p>	

## ⑥役割分担と責任の明確化（事業実施にあたって役割分担が明確に定められていたか）

団体自己評価：十分達成できた	担当課自己評価：十分達成できた
<p>・実行委員会や各チームミーティングでお互いの役割と責任について十分話し合いながら進めた。</p> <p>・ワークショップ等の参加受付を担当課にお願いし市民への窓口になっていただいた。</p>	

## ⑦協働事業の相乗効果（市が単独で実施するより効果的・効率的な事業展開ができたか）

団体自己評価：十分達成できた	担当課自己評価：十分達成できた
<p>【団体】多様なメンバーの意見と経験を得て企画を立てたので、ユニークな企画が生まれた。また市との共催ということで市民の信頼を得ることができた。</p> <p>【担当課】東京でオリンピック・パラリンピックが開催されるまたとない機会に、市民目線で考えた企画で、市民が運営する事業を実施できたことで、市が単独で実施するより多くの市民に参加していただくことができた。団体の経験と人脈を十分に発揮され、市が側面支援をすることで、これまでの事業と比較しても、効果的・効率的な事業展開ができた。</p>	

## ⑧目標の達成（事業の目的が達成できたか）

団体自己評価：十分達成できた	担当課自己評価：十分達成できた
<p>【団体】コロナ禍のため各イベントの参加者数は多くなかったが、ダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包摂)について子供たちや市民の皆さんに考えるきっかけを提供できたと思う。</p> <p>【担当課】コロナ禍で広報をすることも躊躇われるなかでの実施とはなったが、常にダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包摂)を意識して事業を実施したことで、世代・地域・国籍・文化のちがいを、障がいの有無を超えて、小平に暮らすすべての人に東京2020大会を楽しんでいただく機会を与えることができ、多くの市民の記憶に残る催し物を企画実施することができた。</p>	

## ⑨地域の課題解決（事業を通じて地域の課題解決につながったか）

団体自己評価：達成できた	担当課自己評価：達成できた
<p>・オリンピック・パラリンピックを契機に小平の子供たちにレガシーを残すことは、コロナ禍のため十分な実績を上げることはできなかった。しかし絵画の提出やオンラインでの視聴など形を変えて行う方法を実施することで今後の課題解決のあり方についてヒントを得ることができた。</p>	

## ⑩その他意見（提案団体から）

・我々の活動から生まれたものとして、小平に「ボッチャ」を広める団体、そして環境とゴミリサイクルをかんがえる「ウォーキングゴミひろい」大会を行う団体ができる。多様性と包括、そして環境など今後重要になるテーマについて、考え行動する市民活動を援護し促進する施策がますます必要と思う。

## ※自己評価項目

1	十分達成できた
2	達成できた
3	概ね達成できた
4	目標を下回った
5	達成できなかった